

## 江田島市地域経済動向調査（令和元年8月）

### ■全国の景況

#### ◇月例経済報告（令和元年7月号より）

『景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。』

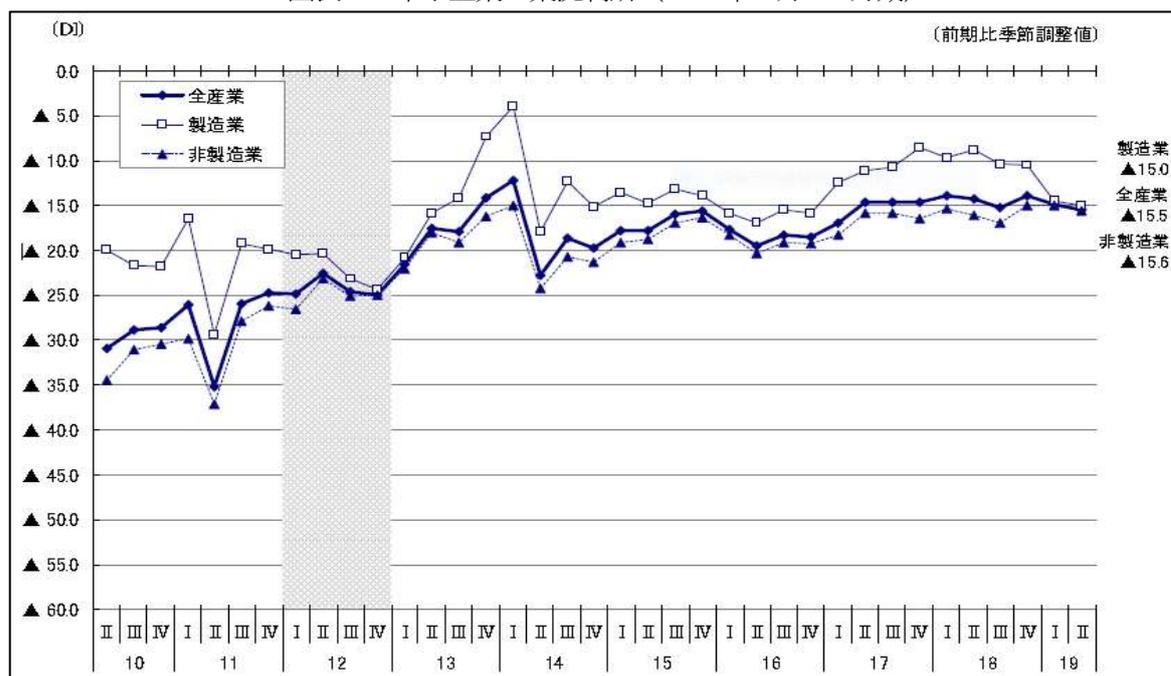
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。
- ・企業収益は、高い水準で底堅く推移している。企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。
- ・先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

#### ◇中小企業景況調査（2019年4～6月より）

『中小企業の業況は、一部業種に一服感が見られるものの、基調としては、緩やかに改善している。』

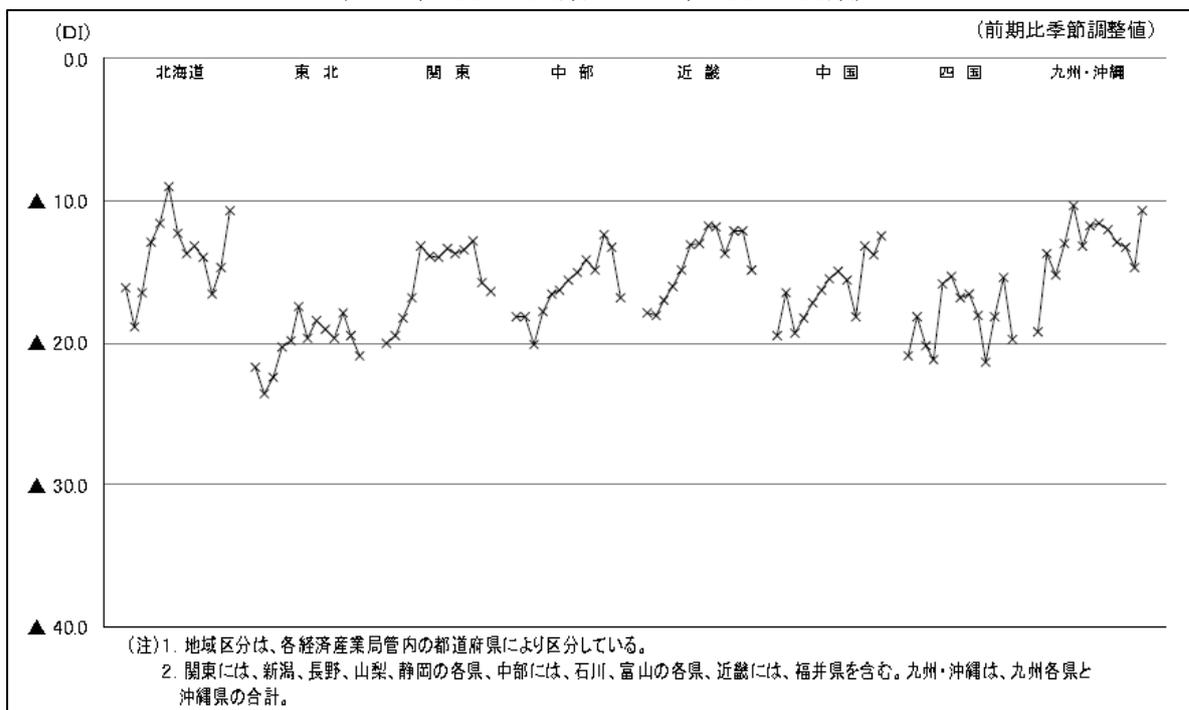
- ・2019年4～6月期の全産業の業況判断DIは、▲15.5（前期差0.6ポイント減）となり、2期連続で低下した。
- ・製造業の業況判断DIは、▲15.0（前期差0.5ポイント減）となり、4期連続して低下した。
- ・非製造業の業況判断DIは、▲15.6（前期差0.6ポイント減）と3期ぶりに低下した。

図表1 中小企業の業況判断（2019年4月～6月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、北海道、九州・沖縄、中国でマイナス幅が縮小し、四国、中部、近畿、東北、関東でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）  
（2016年4月～6月期～2019年4月～6月期）



## ■広島県の景況

### ◇広島県内経済情勢報告（令和元年7月）

『県内経済は、緩やかに回復している』

#### ・個人消費：「回復しつつある」

百貨店販売は衣料品などが、ホームセンター販売は園芸用品や日用消耗品などが低調であり前年を下回っている。ドラッグストア販売は食料品や化粧品などが好調であり、コンビニエンスストア販売やスーパー販売は食料品などが堅調であり前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では回復しつつある。

#### ・生産活動：「回復している」

輸送機械は、自動車が国内外の需要が堅調であることなどから、高操業を維持している。一般機械は、自動車部品向け射出成形機などの需要に一服感がみられるものの、プラント向けなどの需要が堅調であることから、増加している。電気機械は、家電製品向けセンサーなどの需要が堅調であることから、高操業を維持している。鉄鋼は、稼働停止していた一部設備が復旧したことから、増加している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの需要は落ち着いているものの、テレビ向けなどの需要が堅調であることから、増加している。このように、生産活動は、全体では緩やかに回復している。

#### ・雇用情勢：「着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている」

有効求人倍率（平成31年3～令和元年5月）は2.13倍と、全国の1.63倍と比べ高水準で推移しているほか、新規求職者数の減少などから新規求人倍率も上昇しているなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている

#### ・設備投資：「令和元年度は前年度を上回る見込み」

○製造業では、その他製造、木材・木製品などで増益となるものの、生産用機械、自動車などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○非製造業では、金融・保険、建設などで減少するものの、運輸・郵便、その他のサービスなどで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

#### ・企業収益：「令和元年度は減益見込み」

○製製造業では、その他製造、木材・木製品などで増益となるものの、生産用機械、自動車などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、小売、情報通信などで増益となるものの、運輸・郵便、その他のサービスなどで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

#### ・企業の景況感：「『下降』超幅は拡大」

企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

#### ・住宅建設：「前年を下回る」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、持家が增加しているものの、貸家、給与住宅が減少していることから、前年を下回っている。

#### ・輸 出：「前年を上回る」

県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、自動車、船舶などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、中南米などで増加している。

なお、輸入は、一般機械、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、アフリカなどで増加している。

表図3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率・前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比	
	指数	前月(年)比				戸数合計	持家	貸家			
2015年	100.0	2.7	0.9	△ 0.5	△ 9.8	△ 1.0	△ 1.0	15.2	※△ 4.9	△ 1.0	
16	101.2	1.2	—	△ 0.5	△ 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9	
17	103.3	2.1	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	※ 3.3	0.6	
18	100.3	△ 2.9	—	△ 1.2	2.2	△ 12.0	△ 2.2	△ 14.2	※ 16.6	△ 2.2	
18年 4~6月	104.3	1.2	0.5	△ 1.7	△ 0.6	△ 19.5	△ 7.1	△ 10.1	10.1	△ 2.7	
7~9	91.3	△ 12.5	2.5	△ 1.7	5.5	△ 11.4	△ 2.3	△ 6.4	0.4	△ 2.8	
10~12	102.3	12.0	△ 0.1	△ 0.7	9.0	△ 16.1	5.3	△ 29.9	5.1	△ 1.8	
19年 1~3	103.6	1.3	2.0	△ 0.5	△ 3.0	△ 1.2	2.2	△ 13.6	63.4	△ 2.2	
4~6				1.3	0.5	17.7	15.7	△ 5.1	67.4		
18年 5	103.8	0.3	0.6	△ 3.8	△ 2.7	△ 33.5	△ 4.0	△ 15.0	13.9	△ 2.5	
6	105.6	1.7	0.5	0.8	△ 3.5	△ 11.1	△ 11.6	△ 13.4	19.6	△ 2.5	
7	84.0	△ 20.5	△ 0.9	△ 4.1	1.1	△ 18.7	△ 5.7	△ 18.4	4.7	△ 3.3	
8	91.6	9.0	4.5	△ 0.3	17.1	15.2	6.3	14.0	10.9	△ 0.9	
9	98.4	7.4	4.1	△ 0.2	1.2	△ 24.0	△ 6.0	△ 12.7	△ 14.7	△ 4.2	
10	101.4	3.0	6.6	△ 0.4	13.5	△ 23.6	10.1	△ 41.9	△ 22.3	△ 0.8	
11	102.0	0.6	△ 1.3	0.1	12.0	△ 14.3	5.5	△ 24.0	17.6	△ 0.8	
12	103.4	1.4	△ 5.3	△ 1.4	1.7	△ 10.2	0.0	△ 24.6	53.5	△ 3.9	
19年 1	100.8	△ 2.5	3.6	△ 2.2	3.0	△ 1.6	△ 1.8	6.9	93.3	△ 3.4	
2	102.0	1.2	2.0	0.1	△ 1.4	14.3	6.5	△ 5.4	△ 7.5	△ 2.5	
3	108.0	5.9	0.4	0.9	△ 7.9	△ 15.3	1.8	△ 31.1	107.6	△ 0.9	
4	103.0	△ 4.6	△ 2.4	0.7	1.5	9.7	13.2	△ 15.6	38.8	0.8	
5	P 100.7	△ 2.2		1.3	5.5	△ 15.8	5.4	△ 28.0	118.3	△ 1.8	
6				2.0	△ 4.5	64.1	28.6	26.6	75.0		
調査機関	広島県統計課		電源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局 中国観光協会	国土交通省			西日本建設業協会	県統計課	

(注) Pは速報値。鉱工業指数の半年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やアパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、2016年3月までは中国電力公表の大口電力需要を掲載している。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値。公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度。所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀行		手形交換		不渡手形 (内取引停止処分)		企業倒産 (負債1千万円以上)		
			総預金 (億円)	貸出金 (億円)	枚数 (千枚)	金額 (億円)	枚数 (枚)	金額 (万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	
2015年	※1.52	1.5	120,678	84,246	1,229	35,466	80	4,654	170	25,805	
16	※1.68	0.0	122,718	86,676	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005	
17	※1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960	
18	※2.06	0.8	129,242	94,233	970	27,930	94	8,506	184	31,553	
18年 4~6月	2.03	0.5	129,630	95,797	248	7,051	35	3,556	34	5,141	
7~9	2.10	1.0	129,174	96,307	239	6,809	1	10	49	15,687	
10~12	2.08	0.5	128,671	97,701	238	7,688	41	4,493	52	7,082	
19年 1~3	2.11	△ 0.3	131,899	98,109	232	7,062	12	475	48	9,812	
4~6	2.10	0.2	131,433	99,050	231	7,705	12	1,575	43	2,852	
18年 5	2.03	0.5	129,298	94,943	105	2,576	12	1,426	10	1,295	
6	2.07	0.6	129,630	95,797	63	2,135	4	115	8	308	
7	2.10	0.7	128,292	96,119	101	2,819	—	—	18	2,560	
8	2.09	1.1	128,466	96,208	81	2,310	1	10	19	12,396	
9	2.10	1.1	129,174	96,307	57	1,680	—	—	12	731	
10	2.08	1.1	128,133	96,016	99	2,842	12	353	26	2,995	
11	2.08	0.4	127,791	96,588	79	2,376	26	2,655	12	2,838	
12	2.07	0.1	128,671	97,701	60	2,471	3	1,485	14	1,249	
19年 1	2.08	△ 0.5	128,553	97,612	95	2,626	1	2	14	7,692	
2	2.11	△ 0.4	129,242	97,895	77	2,395	7	187	20	1,514	
3	2.13	0.0	131,899	98,109	60	2,071	4	287	14	606	
4	2.14	0.3	132,162	98,150	76	2,951	4	305	15	615	
5	2.12	0.2	130,196	98,571	98	2,772	4	1,191	10	796	
6	2.06	0.0	131,433	99,050	57	1,962	4	80	18	1,441	
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会			帝国データバンク広島支店			

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値。年度及び四半期の数値は月平均。総預金、貸出金は月末残高。四半期は期末残高。年度値は3月末残高。銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

## ■江田島の景況

### ◇中小企業景況調査（令和元年7月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、2019年4月～6月の景況判断状況は次のとおりである。

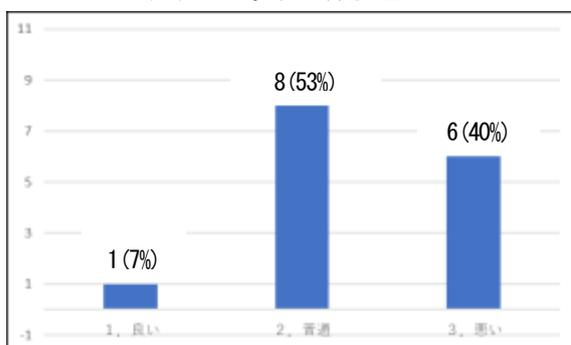
- ・2019年4月～6月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲10.9であり、全国と比較して、4.6ポイント高くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、D Iは▲33.3であり、全国値・広島県値より低い値となっている。

図表4 景況判断状況 (前期比)

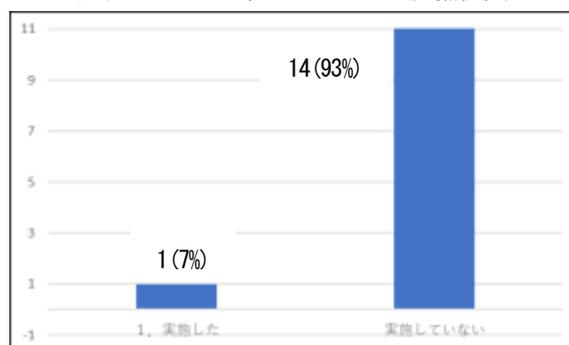
	2018年				2019年	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
全国	▲13.9	▲14.3	▲15.3	▲13.9	▲14.9	▲15.5
広島県	▲14.5	▲15.2	▲17.0	▲7.5	▲9.7	▲10.9
江田島市	—	▲33.3	▲20.0	▲33.3	▲40.0	▲33.3

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2019年4月～6月の設備投資



- ・中小企業景況調査では、全国で約19,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「製造設備の不足・老朽化」、建設業では「大企業の進出による競争の激化」及び「官公需要の停滞」、小売業では「需要の停滞」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」が経営上の問題点の1位となっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	需要の停滞	原材料価格の上昇	従業員の確保難
	江田島市商工会	製産設備の不足・老朽化	特に問題なし	特に問題なし
建設業	全国	従業員の確保難	材料価格の上昇	熟練技術者の確保難
	江田島市商工会	大企業の進出による競争の激化 官公需要の停滞	材料価格の上昇 民間需要の停滞	その他
小売業	全国	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化	需要の停滞
	江田島市商工会	需要の停滞	購買力の他地域への流出	特に問題なし
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難	需要の停滞
	江田島市商工会	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費以外の経費の増加

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和元年6月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は23件、金額は341百万円であり、前年同月比では減少している。
- ・令和元年6月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は463件、金額は3,864百万円であり、前年同月比では減少している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	平成30年6月					令和元年6月			
	保証承諾		保証債務残高			保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額		件数	金額	件数	金額
江田島市	30	402	507	3,942	江田島市	23	341	463	3,864
広島県	4,116	42,210	62,606	436,840	広島県	3,895	43,277	58,256	416,654

以上